



BIOMASS EXPO



スマートエネルギー Week2016 視察

3月2日(水)から4日(金)の3日間、東京ビッグサイトで「スマートエネルギーWeek(新エネルギー展)」が開催されました。

資源の有効活用という観点から視察してきた内容をお知らせします。

この展示会には、世界31カ国から1,430社の出展があり、「水素・燃料電池展」「太陽電池展」「太陽光発電システム施工展」「二次電池展」「スマートグリッドEXPO」「風力発電展」「電力自由化EXPO」「バイオマス発電展」「火力発電EXPO」の9部門で構成されていました。

私が主に見てきたのは、「バイオマス発電展」のブースです。

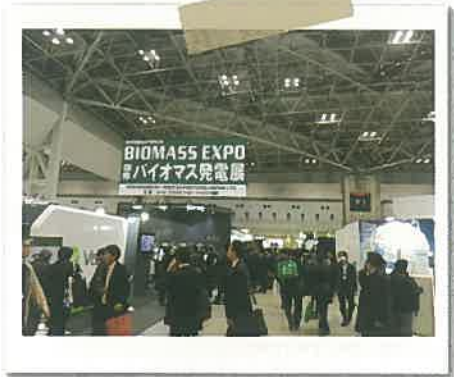
バイオマスとは、bio(生物資源)mass(量)を表し、発電の燃料となるバイオマスは、木質資源(注1)、下水汚泥、家畜糞尿、食物残渣等(注2)の、動植物から生まれた再生可能な有機性資源を言います。そのエネルギー源を燃焼したり、あるいは一度ガス化したものを燃焼したりして発電するしくみを「バイオマス発電」と言います。

「バイオマス発電展」には、56社が出展していました。環境保護のためのアドバイスを伝える企業、事業化に向けて手助けをする企業、燃料となる資源を作る企業、その資源を活用するための発電機を作る企業など多くの出展がありました。

今回燃料として考えられていたのは、木質系のものが多かったように思います。間伐材をチップにしたり、固形燃料にして発電するものです。

私たちも、環境整備の仕事に携わる企業として、資源の有効活用や環境に優しい方策を考えていきたいと思います。

廃棄物課 清水 直樹



注1. 間伐材、建築廃材、家具など 注2. 生ごみ



高原川漁協 からのお願いです

これぐらいは大丈夫？



.....
 という思いが川を汚します！

左の写真は、昨年6月に神岡大橋下流にある側溝水の流入地点を撮影したものです。これは、洗剤に由来すると思われる界面活性剤により、大量の泡が発生した状況を記録しています。

最近、このような河川への泡の流出は、つるべ橋の左岸、藤波橋上流右岸、茂住橋下流右岸など高原川流域のあちこちで見られています。魚類の死亡等の事故は発生していませんが、これでは清流高原川のイメージは台なしです。

これぐらいなら大丈夫だろうといった軽い気持ちで、このような事故につながります。

高原川は、高原郷にとって大切な観光資源です。美しい高原川を維持していくには、流域に生活する一人ひとりが気を配るしかありません。



このコーナーでは、当社の社員が、環境衛生の仕事の現場で見たこと、感じたこと、あるいは仕事に関係のない趣味の世界を、交代で思いつくままに書き綴っていきます。

私の仕事

●平成16年入社 廃棄物課所属 **清水 豊** (しみず ゆたか)

私は廃棄物課で神岡、上宝のゴミ収集を行っています。毎日の運転では事故を起こさないよう日々気を遣い業務を行っています。世間では汚い、きつい仕事とされていますが、ゴミ収集車は小さい子供たちには大人気で、よく手を振ってくれます。そんな笑顔を見て日々頑張っています。



当社には環境戦隊エコレンジャーというイメージキャラクターがあり、最近何台かのパッカー車にステッカーを貼っています。よくゴレンジャーと間違えられますが、エコレンジャーですのでみなさん覚えてくださいね。

山 人々と心②

新穂高温泉から 槍ヶ岳、双六岳周遊



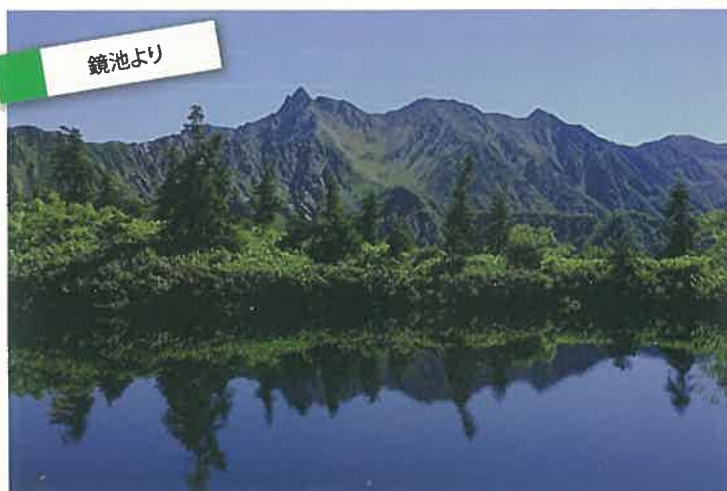
柏谷 志郎
(かすやしろう)

岐阜大学名誉教授

毎年5月10日に村上神社で播隆祭が行われ、高山市の無形民俗文化財「へんべとり」が披露されます。福地温泉へ湯治に訪れた村上天皇(平安時代)が毒蛇を退治した伝説を元にした獅子舞です。これが北アルプス飛騨側の開山祭となります。私は、槍ヶ岳への登山は新穂高温泉からがほとんどです。白出沢までは林道を、さらに滝谷出合を越えて槍平までは、緩やかな上りが続きます。ただし、この二つの沢は出水後は流される事故も起きています。槍平からは徐々に傾斜を増し、樹林帯のきつい上りとなります。突然視界が開け、草原となります。ここを過ぎると植物もほとんど生えないガレ場のつづら折れ、登山のえらさが身に染みます。登り切った所が飛騨乗越(のっこし)です。乗越は峠を指しますが、ここは日本一高い峠です。下れば上高地を経て信州へとつながります。ここから槍の肩にかけての地層(槍ヶ岳結晶片岩)は海底よりさらに深い所から一気に3,000mまで持ち上がった

たものです。大地震が起こると大変な被害を受けますが、こうした地殻変動のエネルギーはそれより何桁も上回っています。槍の穂先は打って変わって火山岩類でできています。約176万年前にできたものです。槍ヶ岳の頂上直下には2本のハシゴがかけられており、安全に登れます。しかし、シーズン中は大渋滞を起こします。播隆が必死に寄付を募って設置した鎖はもうありません。明治に入り、盗まれてくず鉄屋に売られたそうです。

槍ヶ岳から双六岳へは裏銀座と称せられる人気の尾根コースを歩きます。槍ヶ岳の頂がどんどん遠のき、稜線の特徴が明らかになってきます。小さなピークをいくつも上り下りします。稜線上のピークは、「あんなに高いの」と思ったりしますが、以外と早く登れてしまいます。双六岳からは槍穂連峰の全容が見渡せ、絶景ポイントです。再び引き返し、双六小屋へと下り、弓折岳へ向かう稜線に入ります。この稜線は笠ヶ岳へと続きます。途中から鏡平へと下ります。ここには鏡池があり、槍穂連峰を映しこみます。絶好の撮影ポイントです。ここから延々と下り、秩父沢を経てわさび平に至ります。ここからは林道です。ここまで下ると日暮れを迎えることも多く、新穂高温泉の灯りが待ち遠しい漆黒の世界となります。



参考文献:小井土由光編著 みのひだ地質99選(岐阜新聞社)、新田次郎著 槍ヶ岳開山(文春文庫)。

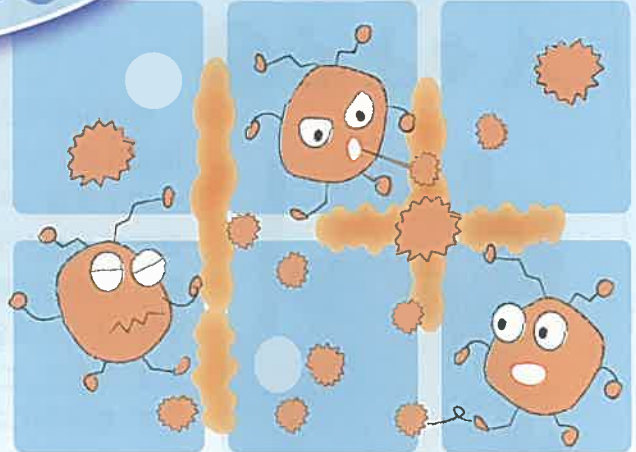
こんにちは! メンテナンス課です!

No.08



今回は、カビについてのお話です。
カビが大好きな条件は3つあります。

- ① 75%以上の湿度
- ② 20℃から30℃の温度
- ③ フケ、アカ、食べ物かすなどの栄養



もうすぐ梅雨が始まり、カビが気になる季節となります。
カビの発生や増殖を予防するために大事なのは、梅雨に入る前にしっかりとカビ対策をしておくことです。

そこで、カビの発生しやすい浴室、洗濯機、エアコンについての対策を紹介します。

浴室



浴室は温度、湿度、栄養分が全部そろったカビの楽園です。カビは36℃以上になると発生はほとんど止まりますので温水シャワーで汚れを洗い流し、その後冷水をかけて冷やし、換気扇を1時間ほど回しておくとかびが発生しにくくなります。

洗濯機



洗濯槽の中は、衣服から出た汚れと水気などでカビが発生しやすくなっています。カビ対策のポイントは次の3点です。

- ① 使用後はふたを開けておく
- ② 洗う直前に洗濯槽に服を入れる
- ③ こまめにゴミフィルターの清掃を行う

エアコン



冷房運転後、エアコン内部は結露によりカビが生えやすい環境になっています。カビ対策のポイントは次の2点です。

- ① エアコンのフィルターはこまめに清掃する
- ② 使用前後に「送風運転」にして窓を開けてフィルター内の水分を飛ばすようにする

カビ対策には「こまめな掃除」が一番です。とはいえ、「忙しい毎日の中できれいにできる場所は限られてしまう。」「細かなところまで掃除できない。」ということもあります。忙しい人は、プロの手を借りるか、ここだけはというポイントを押さえて、梅雨入り前のカビ対策を行うのがおすすめです。

見えないところのお掃除をしてみませんか？



浴室清掃

清掃前



清掃後



浴室天井部

浴室には湯垢や石鹸カス、皮脂汚れ、カビなど、いろいろな汚れがたまります。

当社では普段のお掃除では手に負えないところも、プロが汚れの特性を見極め、状態にあわせた清掃をいたします。

洗濯槽クリーニング

清掃前



清掃後



洗濯槽専用の洗剤がたくさん出ていますが、長年使用した洗濯槽の表面についた何層もの汚れの1層分ほどの汚れしか落ちません。

また、中途半端に汚れが取れることで洗濯物に汚れが付くこともあります。

当社では洗濯機を分解して掃除するので、カビや石鹸カス、ホコリを徹底的に除去します。

エアコン清掃

清掃前



清掃後



洗浄汚水



エアコンのフィルターをこまめに清掃しているのに、嫌な臭いがしたり、効きが悪いと感じるのは、エアコン内部の汚れが原因です。

当社ではプロの技術と専用機材による分解洗浄で、ご家庭ではできないエアコン内部のアルミフィンやフィルターを隅々まで清掃します。

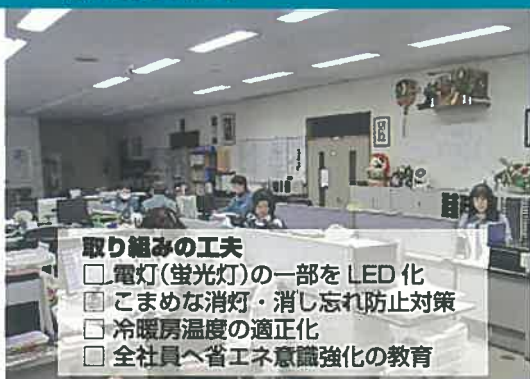
※一部対応できない機種もございます

ISO 14001 の取り組み

当社ではISO14001 (環境マネジメントシステム) の認証を取得し、様々な環境活動に取り組んでいます。一部の活動をご紹介します。

電気使用量の削減

本社社屋内で業務に使用している電力使用量の削減に努めています



取り組みの工夫

- 電灯(蛍光灯)の一部をLED化
- こまめな消灯・消し忘れ防止対策
- 冷暖房温度の適正化
- 全社員へ省エネ意識強化の教育



2014年合計 113,096kWh
 ↓
 2015年合計 101,278kWh
 およそ**12,000kWh**の削減
 (=約3.6世帯分[※]の年間使用量)
※電気事業連合会調べ2013年度分より算出

地域清掃 河川清掃

15年前よりボランティアで神岡・上宝地区で国道沿いの退避場や、河川の清掃を続けています



2015年 実施 河川清掃、地域清掃で回収されたごみ	
可燃物	72.36kg
プラ容器	22.34kg
缶	13.17kg
金物	7.98kg
ペットボトル	1.16kg

回収量の記録をみると、ポイ捨てされたごみはあまり減少しておりません。弁当の空容器、缶、ペットボトル、タバコの吸殻等のゴミが目立ちます。いつまでもゴミのない綺麗な地域にするためご協力をお願いします。私たちは、この活動をこれからも継続して行ってまいります。



株式会社 神岡衛生社

〒506-1147 飛騨市神岡町東雲375番地

TEL0578-82-0337 FAX0578-82-5846 URL <http://www.k-eisei.co.jp/>

ホームページからもお問い合わせ、ご注文など承っております。なかなか電話する時間がない方も、そうでない方もお気軽にどうぞ。

業務内容

- 一般廃棄物収集運搬/し尿、ゴミ(一般家庭・事業系)
- 産業廃棄物収集・運搬
- 浄化槽清掃
- 浄化槽保守点検
- 浄化槽工事
- 上下水道設備工事
- 下水道施設維持管理(終末処理場・管路)
- 衛生設備維持管理
- ビルメンテナンス/床清掃、排水管清掃、貯水槽清掃
- リースキン代理店
- 水質分析/環境分析、排水分析、建築物飲料水水質検査
- 環境衛生関連商品販売
- 墓石清掃
- その他、環境衛生に関する全般のご相談に応じます。